彩の国 埼玉県
vol.128
2026(R8).10

さいたまけんりつとしょかん

埼玉県立図書館だより

～あなたの調べるを応援します～

Saitama Prefectural Library Newsletter



特集　**バリアフリー読書推進担当のお仕事**

いろいろ
あります

県立図書館のお仕事紹介

バリアフリー
読書
推進担当

こんにちは。県立久喜図書館には、バリアフリー読書推進担当があり、活字による読書が難しい方へサービスを行っています。
今回は、バリアフリー読書推進担当が行っているサービスについて、ご紹介します。

バリアフリー読書推進担当は何を行っているの？

活字の図書をそのまま利用することが難しい方に、専用の資料（バリアフリー資料）の貸出しや製作、対面朗読などのサービスを行っています。
「障害者のためのサービス」というイメージがあるかもしれませんが、障害の有無に関わらず、活字による読書が難しい方は、どなたでもご利用いただけます。

活字による読書が難しい方とは？

まずは、視覚障害者、高齢等のため目の不自由な方です。
目が見えづらいまたは見えないことで、活字の図書や雑誌を読むことができないことがあります。
次に、ディスレクシア等の発達障害者で、視力に問題はなくても文字を視覚的に認識できないまたはしづらい方です。
こうした方々は、文字が繋がって見えたり、歪んで見えてしまうため、文字を読むことに困難を抱えています。
また、身体が不自由で本が持てない、ページがめくれないという方もいます。
文字は読めても、本を持てなかったり、ページをめくれなかったりすれば、読書をすることは困難ですよね。
「活字による読書が難しい方」と言っても、その事情は様々です。

バリアフリー資料

バリアフリー資料は、活字による読書が難しい方も利用できるよう配慮した本や雑誌のことです。
一人一人の「読書に対するお困りごと」に適した読書ツールをご用意しています。



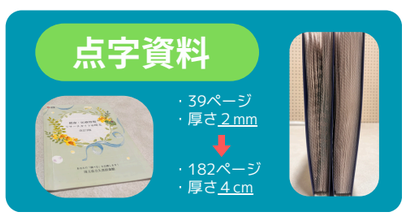
『埼玉県の民話』（製作：埼玉県立久喜図書館）

デイジーは、「Digital Accessible Information System」（アクセシブルな情報システム）の略称で、録音図書の国際標準規格です。
専用の機器やパソコン、タブレットで再生ができます。
見た目はCDですが、見出しが付けられているため、読みたい章やページへ瞬時に移動して読むことができます。
また、再生スピードも調整できるため、自分の聞きやすい速度で聞けるようになっています。
図や写真がある場合は、音声で説明しています。
視覚障害者のみならず、ディスレクシアなど発達障害のある方、身体に障害のある方等、幅広い方に利用されています。



『ごん狐』（製作：日本障害者リハビリテーション協会）

音声と画像を同時に再生することができる電子書籍です。
音声に合わせて文字や画像が表示されるため、それらを見ながら聞くことができます。
文字の大きさや色、背景色などが変更可能で、利用者の特性に合わせて読みやすい環境を整えることができます。
音声で読んでいるところがハイライトされ、どこを読んでいるか一目で分かるマルチメディアデイジーは、文字だけ、または音声だけでは本が読みづらい方にとって、画期的な読書ツールとなっています。
ディスレクシア等の発達障害の方、知的障害のある方に多く利用されています。



視覚障害者向けに、活字の資料を点訳したものです。
点字には漢字がなく、すべて仮名の表記になるため、活字の資料よりもボリュームがあります。
例えば、パンフレット「健康・医療情報リサーチガイド@埼玉」（埼玉県立久喜図書館編集・発行）を点訳すると２分冊になります。

【埼玉県立図書館ウェブサイト】には資料の紹介動画もあります。併せてご覧ください。



『仕事に行ってきます』（出版：埼玉福祉会）
『病院へ いこう』（出版：Sプランニング）

やさしく短い文章で書かれている図書です。
文字だけでは内容を理解することが難しい方のために、絵や写真、ピクトグラムを使うことで、目で見て分かりやすいように工夫されています。
料理や仕事など、日常生活に役立つような身近な内容の本が多く発行されています。
主に知的障害のある方に利用されています。



『My Book』（原作・製作：ふきのとう文庫）
『おめめをあけて』（原作：のぐち みつよ　製作：埼玉県立久喜図書館）

文字どおり「布」で作られた絵本です。
中身がマジックテープやボタンで留められているため、動かしたり、取り外したりでき、指先を使いながら楽しむことができます。
特別支援学校や放課後デイサービスなどの団体へ貸出しを行っています。

担当の業務

バリアフリー資料の貸出し

音声デイジーや点字図書などのバリアフリー資料は、全国の公共図書館や点字図書館等で製作した資料を共有しているため、製作した図書館等から資料を取り寄せて、貸出しを行っています。
視覚障害者の方には、無料で郵送できます。

資料の製作

音声デイジー、マルチメディアデイジーについては、当館で養成した音訳者・デイジー編集者等にご協力いただきながら製作しています。
デイジーを製作するためには、読みの調査や図表等の説明原稿の作成、デイジー編集など、多くの作業が必要です。
音訳者・デイジー編集者等と職員が協力し、より良い資料を製作するために日々取り組んでいます。
点字図書は埼玉県点訳研究会に点訳を依頼しており、布絵本はボランティアグループに製作していただいています。
また、製作した点字・デイジーは、国立国会図書館にデータを提供しています。
そうすることで、「みなサーチ」（※１）や「サピエ図書館」（※２）といったバリアフリー図書の検索・ダウンロードサイトから、図書のデータを直接ダウンロードすることが可能となります。
バリアフリー読書推進担当で製作した資料は、全国、そして全世界の読書に困難を抱える方々が利用できるようになっているのです。
※１「みなサーチ」とは、国立国会図書館の障害者用資料検索サービスです。
※２「サピエ図書館」とは、視覚障害者及び視覚による表現の認識が困難な方々に対して点字、デイジーデータを提供するネットワークです。全国視覚障害者情報提供施設協会が運営しています。

対面朗読

利用者が読みたい資料を対面で音訳するサービスです。
点字やデイジー資料の製作には、半年から1年程度かかるため、読みたい本があっても、待たなければなりません。
対面朗読を利用すれば、出版されたばかりの本もすぐに読むことができます。
また、必要な部分のみを読むことができるため、調べ物の際にも便利です。



障害者サービス・バリアフリー資料をさらに広めるために

県内のどの図書館でもバリアフリー資料の貸出しや対面朗読等のサービスが実施できるよう、県内の図書館に障害者サービスの運営相談や研修講師の派遣を行っています。
担当職員が、講師としてデイジーの製作、対面朗読について講義したり、県立図書館で活動している音訳者を講師として紹介することもあります。
また、バリアフリー資料を多くの方に知っていただくため、小・中・高・特別支援学校の教員研修や「図書館と県民のつどい埼玉」、イベント等でバリアフリー資料の展示と実演会を行っています。
これからも、活字による読書が難しい子供たちや県民の皆さんを支援するサービスに取り組んでまいります。

司書のおすすめ－図書館の棚から－

印刷雑誌 2022年12月

デジタル化が進む中でも、その機能や価値をデジタル化するのが難しい資料がある。

大正7（1918）年に創刊した『印刷雑誌』は、100年以上の歴史を持つ専門誌だ。日本印刷学会の機関誌として、印刷技術・デザイン・製本・製版・出版等について、国内外の情報や関連技術を紹介している。コンセプトは「印刷の未来を見つめる技術情報誌」である。

ところで、書籍や絵本の企画者や作家の話はよく耳にするが、その本を完成させるために必要な編集・印刷技術・製本技術に関する話を聞く機会はあまり多くない。『印刷雑誌　2022年12月号』では「絵本の価値」と題して、絵本の企画・編集・印刷・製本加工技術を詳しく紹介している。

私は、本誌で特に大きく取り上げられている「点字つき触る絵本」を児童生徒に見せることがあるが、その際に「どうしてこのポツポツ（隆起している部分）分）は下の絵とずれて書かれているのか」という質問を受けることがある。

「点字つき触る絵本」は特別なインキで点字とイラスト部分を隆起させる「UVシルク印刷」という技術が使われている。イラストと隆起部分のずれは、実は技術的な欠陥ではなく、「見える人も見えない人も同時に楽しめる」意図的な設計だ。

色の違いを手触りで表現する工夫、読みやすい点字の高さ（300μm）を実現する印刷技術など、「どうしてその形になっているか」の答えとなる各専門家の工夫と思いを、この雑誌から知ることができる。

本誌読後は、当館で所蔵している「点字つき触る絵本」や「点字雑誌」も手に取って、ぜひこれらの資料が持つ独自の価値を直接体験していただきたい。

（紹介者　新聞・雑誌担当　岩村）



『印刷雑誌　2022年12月』
印刷学会出版部
（所蔵館　久喜図書館）

司書がおすすめする、埼玉県立図書館所蔵の本や雑誌、CDなどをご紹介します。

イベント紹介

図書館と県民のつどい埼玉 2026

桶川市民ホール・さいたま文学館 **2026.12.6**（日）**10:00-16:00**



和田竜さん記念講演	10:15～11:15
読み聞かせ講座	13:30～15:30
学校図書館講座	13:30～15:30
中学生のビブリオバトル決勝	13:30～14:30
ビブリオ劇場	14:00～15:00
図書館企画	11:00～16:00

・和田竜先生の世界へようこそ！（著作展示）
・ビジュアル体験！高校図書館めぐり
・SALA加盟図書館所蔵資料展示会　など

※一部の企画には定員があり、事前申込が必要です。

ほかにも図書館に関する企画が盛りだくさん。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

つどい埼玉2026 ウェブサイト 二次元コード

参加無料！年に1度、県内最大級の図書館イベント

図書館と県民のつどい埼玉2026ウェブサイト　https://www.sailib.net/tudoi2026

埼玉県立図書館だより 128号
2026（令和8）年10月発行
発行 埼玉県立熊谷図書館 熊谷市箱田5-6-1
電話 048-523-6291

詳しくは、埼玉県立図書館ウェブサイトをご覧ください→
https://www.lib.pref.saitama.jp/

Saitama Prefectural Libraries 埼玉県立図書館

さいたまっち コバトン